

平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社大光

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

平成25年2月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	20,367	2.2	△110	—	△95	—	△124	—
24年5月期第2四半期	19,930	—	158	—	164	—	80	—

(注) 包括利益 25年5月期第2四半期 △140百万円 (—%) 24年5月期第2四半期 58百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	△21.27	—
24年5月期第2四半期	13.85	13.79

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年5月期第2四半期	16,307	1,851	1,851	1,851	11.4	312.72	312.72	
24年5月期	15,783	1,999	1,999	1,999	12.7	341.97	341.97	

(参考) 自己資本 25年5月期第2四半期 1,851百万円 24年5月期 1,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年5月期	—	5.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,963	3.9	250	△48.3	250	△48.9	76	△66.3	12.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	6,021,600 株	24年5月期	5,947,600 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	100,004 株	24年5月期	100,004 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	5,864,960 株	24年5月期2Q	5,830,789 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷から持ち直しがみられたものの、欧州の債務問題などによる世界経済の低迷や、日中関係の悪化による輸出の減少など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、消費者の節約志向・低価格志向は根強く、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、関東地区における新規開拓の強化に加え、前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗の開業や既存店舗のリニューアルを行うなど、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は203億67百万円（前年同期比2.2%増）となったものの、水産品事業における主力商品の在庫評価損等により売上総利益が前年同期と比較して71百万円減少したほか、営業強化及び店舗の増加等に伴う人件費、一般管理費の増加などから、営業損失は1億10百万円（前年同期は営業利益1億58百万円）、経常損失は95百万円（前年同期は経常利益1億64百万円）、四半期純損失は1億24百万円（前年同期は四半期純利益80百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、関東地区における新規得意先の獲得に注力するため、平成24年6月の組織変更により東京支店（東京都中央区）を分割し、横浜支店（横浜市青葉区）を開設いたしました。関東地区においても、大手外食チェーンのほか、ホテルやレストランなど幅広い外食産業のお客様に対応できる体制を整えました。

また、提案型営業を強化するため、商品知識の向上に取り組むほか、商品提案会を実施するなど、既存得意先の深耕に努めるとともに、前連結会計年度に獲得した新規得意先も好調に推移し、売上を伸ばしております。さらに、当連結会計年度においても新規得意先の獲得に注力しております。

この結果、外商事業の売上高は122億17百万円（前年同期比4.0%増）となり、営業損失は88百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、平成24年7月に大曽根店（名古屋市北区）をリニューアルオープンするとともに、同年10月に豊橋佐藤店（愛知県豊橋市）を新規オープンいたしました。また、その他店舗においても、営業活動の強化を図り、客数の増加に努めてまいりました。大曽根店のリニューアルに伴う休業があったものの、豊橋佐藤店の開業のほか、前連結会計年度に開設したネットショップ及び中津川店が売上拡大に寄与いたしました。

一方で、店舗の増加及びリニューアルに伴い諸経費を計上したほか、光熱費の上昇等により経費が増加いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は76億51百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は5億65百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として37店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、外商事業及びアマカ事業との連携を図り、当社グループの水産品ラインナップの強化を推進するとともに、営業の人員を増強するなど販路の拡大に努めてまいりましたが、主力商品の相場下落により、売上高が減少するとともに、当該在庫商品について88百万円の評価減をいたしました。

この結果、水産品事業の売上高は4億98百万円（前年同期比20.2%減）となり、営業損失は1億53百万円（前年同期は営業利益33百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が2億83百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億81百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が2億33百万円増加したこと等により、全体で2億41百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して5億23百万円増加し、163億7百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が2億54百万円増加したこと等により、流動負債は全体で2億12百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が3億75百万円増加したこと等により、全体で4億58百万円増加しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して6億71百万円増加し、144億55百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億53百万円減少したこと等により、全体で1億47百万円減少し18億51百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業キャッシュ・フローは57百万円の支出となり、前年同期の2億49百万円の支出に比べて1億92百万円の支出の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が95百万円（前年同期は税金等調整前四半期純利益1億63百万円）計上され、売上債権の増減額が前年同期に比べて1億33百万円増加したものの、たな卸資産の増減額が前年同期に比べて6億18百万円減少したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4億78百万円の支出となり、前年同期の3億92百万円の支出に比べて86百万円の支出の増加となりました。これは有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べて52百万円増加し、投資有価証券の取得による支出が前年同期に比べて97百万円増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4億47百万円の収入となり、前年同期の5億87百万円の収入に比べて1億39百万円の収入の減少となりました。これは、長期借入れによる収入が前年同期に比べて6億円増加したものの、短期借入金の純増減額が前年同期に比べて6億92百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の業績予想につきましては、平成24年12月19日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ3,259千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,026	733,777
受取手形及び売掛金	3,312,495	3,595,554
商品	2,838,101	2,925,088
貯蔵品	8,237	7,113
繰延税金資産	106,045	81,013
その他	683,171	705,271
貸倒引当金	△21,619	△17,612
流動資産合計	7,748,457	8,030,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,238,707	4,189,531
その他(純額)	935,634	990,310
有形固定資産合計	5,174,341	5,179,842
無形固定資産	63,821	60,460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,337,762	1,571,023
その他	1,542,376	1,513,348
貸倒引当金	△83,033	△47,412
投資その他の資産合計	2,797,105	3,036,959
固定資産合計	8,035,268	8,277,262
資産合計	15,783,726	16,307,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,010,746	4,265,544
短期借入金	2,670,000	2,578,000
1年内返済予定の長期借入金	1,937,120	2,111,700
未払法人税等	153,256	25,231
賞与引当金	144,517	135,802
ポイント引当金	25,283	27,603
その他	586,490	596,417
流動負債合計	9,527,414	9,740,299
固定負債		
長期借入金	3,606,553	3,981,658
退職給付引当金	175,206	190,608
役員退職慰労引当金	210,474	222,263
資産除去債務	232,714	238,136
その他	31,683	82,720
固定負債合計	4,256,631	4,715,387
負債合計	13,784,046	14,455,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,302	475,032
資本剰余金	368,174	378,830
利益剰余金	1,260,988	1,107,007
自己株式	△33,901	△33,901
株主資本合計	2,059,563	1,926,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,884	△74,342
繰延ヘッジ損益	—	△843
その他の包括利益累計額合計	△59,884	△75,186
純資産合計	1,999,679	1,851,782
負債純資産合計	15,783,726	16,307,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	19,930,774	20,367,819
売上原価	15,835,490	16,344,095
売上総利益	4,095,284	4,023,724
販売費及び一般管理費	3,936,870	4,133,752
営業利益又は営業損失(△)	158,413	△110,028
営業外収益		
受取利息	5,585	6,464
受取配当金	4,628	2,947
受取賃貸料	17,924	21,336
受取手数料	7,385	9,088
その他	19,244	31,314
営業外収益合計	54,767	71,152
営業外費用		
支払利息	28,259	25,587
賃貸費用	16,009	19,213
その他	4,336	11,686
営業外費用合計	48,605	56,487
経常利益又は経常損失(△)	164,574	△95,363
特別利益		
投資有価証券売却益	23,827	85
負ののれん発生益	476	—
特別利益合計	24,304	85
特別損失		
固定資産除売却損	17,250	—
投資有価証券評価損	8,402	—
特別損失合計	25,653	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	163,225	△95,278
法人税、住民税及び事業税	72,359	15,664
法人税等調整額	5,784	13,800
法人税等合計	78,144	29,465
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	85,081	△124,743
少数株主利益	4,325	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80,756	△124,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	85,081	△124,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,156	△14,458
繰延ヘッジ損益	1,311	△843
その他の包括利益合計	△26,845	△15,302
四半期包括利益	58,236	△140,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,981	△140,045
少数株主に係る四半期包括利益	4,254	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	163,225	△95,278
減価償却費	256,857	245,485
のれん償却額	983	983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,893	△39,628
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,263	△8,714
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,234	2,320
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,194	15,402
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	853	11,789
受取利息及び受取配当金	△10,213	△9,412
支払利息	28,259	25,587
固定資産除売却損益(△は益)	17,667	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,827	△85
投資有価証券評価損益(△は益)	8,402	—
売上債権の増減額(△は増加)	△149,744	△283,059
たな卸資産の増減額(△は増加)	△704,560	△85,863
未収入金の増減額(△は増加)	△12,147	18,640
仕入債務の増減額(△は減少)	354,533	254,797
未払金の増減額(△は減少)	38,629	5,808
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△181,669	△39,140
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,150	△12,370
その他	54,735	99,664
小計	△132,065	106,926
利息及び配当金の受取額	5,886	3,824
利息の支払額	△27,904	△25,743
法人税等の支払額	△95,802	△142,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	△249,886	△57,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△156,641	△208,863
無形固定資産の取得による支出	△27,877	△8,365
投資有価証券の取得による支出	△207,996	△305,471
関係会社株式の取得による支出	△10,500	—
投資有価証券の売却による収入	37,027	50,531
投資有価証券の償還による収入	20,000	—
建設協力金の支払による支出	△12,799	—
敷金及び保証金の差入による支出	△30,342	△12,370
敷金及び保証金の回収による収入	50	—
長期貸付金の回収による収入	—	74
保険積立金の解約による収入	—	16,320
その他	△3,709	△10,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392,788	△478,890

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600,000	△92,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△885,127	△1,050,315
社債の償還による支出	△100,000	—
リース債務の返済による支出	△578	△2,027
株式の発行による収入	2,312	21,386
配当金の支払額	△28,906	△29,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	587,699	447,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	51
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△54,988	△88,249
現金及び現金同等物の期首残高	489,323	472,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	434,335	383,777

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年6月1日 至平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,752,899	7,552,551	625,324	19,930,774	—	19,930,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	104	8,796	92	8,993	△8,993	—
計	11,753,003	7,561,348	625,416	19,939,768	△8,993	19,930,774
セグメント利益又は損失(△)	△107,767	595,251	33,270	520,754	△362,341	158,413

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△362,341千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年6月1日 至平成24年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,217,448	7,651,642	498,727	20,367,819	—	20,367,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	9,882	28,648	38,533	△38,533	—
計	12,217,451	7,661,524	527,376	20,406,352	△38,533	20,367,819
セグメント利益又は損失(△)	△88,199	565,234	△153,124	323,910	△433,938	△110,028

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△433,938千円は、当社の本社経費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。